

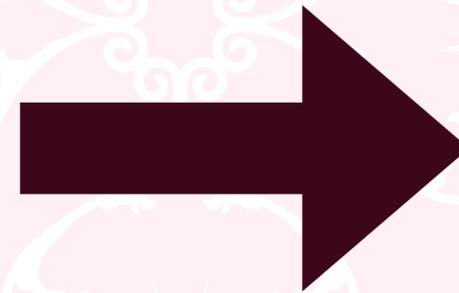
文化祭有志

familiar

～OB/GYN ～産婦人科をもっと身近に～

生理が3ヶ月
きていない
17歳Aさん

生理痛が重く
生活に支障がでている
16歳Kさん



産婦人科に行かない理由

- ・内診など何をされるか分からない
恐怖
- ・男性の医師だったら**恥ずかしい**
- ・女子中高生が行ったら
「妊娠している」と思われそう
- ・どのくらい症状がでたら産婦人科に
行くべきなのか分からない
- ・生理痛だけで産婦人科に行く意味
があるのか分からない

【企画理念】

「女子中高生が産婦人科に行きやすい社会へ」

私達は、自分たちをはじめ、生理などで悩みを持っているにも関わらず
産婦人科へ行かない女子中高生をターゲットにし

産婦人科はどんな所なのか、産婦人系の病気はどのようなものがあるのか
その2つを主に皆様へ発信できるよう、活動をしています。

フイーカレディースクリニック 副院長

窪麻由美先生への取材

生理痛について

日常生活に支障がでる生理痛は治療の対象
→酷い場合は早めに医師に相談しよう！

生理痛を引き起こす主な理由

①ホルモンの乱れ、精神的な理由

→2日目の方が生理痛がひどい人に多い
診察で内診などを強要することはない×

②子宮内膜症

血が逆流して、子宮の外に内膜が
つくことで発症する

90%の人は血が逆流していると言われているが、それがたまたま成長すると子宮内膜症になる

10人に1人が子宮内膜症と言われている
→鎮痛剤を飲んでも効かない場合が多い
若い人には少ない

③子宮筋腫

子宮に良性のこぶができることで起こる30歳以上の20~30%が子宮筋腫と言われている
→生理の量が多い場合に多い
若い人には少ない
日常生活に支障が出るほどの生理痛の場合

①は機能性月経困難症

②③は一括りに器質性月経困難症と言われます。放置をしていると不妊にも繋がるので、とても危険です。



生理の量について

正常 20~140ml
ナプキンに少し血がつく→1~2ml
ナプキンの半分くらい→3ml
ナプキン全体→5ml

産婦人科や産婦人系の病気を知る為に…

親や先生などの大人が出来ること

生理や産婦人科に関する本を 家族や生徒と一緒に読む

本と一緒に読むことでお互いが正しい知識を身につけることができ、そこからお互いの意見を言い合うことでそのような話題を話すハードルを下げることも出来ます！

産婦人科が行っている 体験等に子供と行く

体験をすることで子供達の何をされるか分からない不安も軽減されますし、気軽に通って良い場所というのが身をもって感じる事ができます！

私達の中にも、日常生活に支障が出るほどの生理痛に
悩まされていた人がいるのですが、
それでも何をされるのか分からない恐怖心から、行かずじまいでした。

産婦人科は女子中高生からして気軽で身近なものという
イメージは少ないですし、すぐに拭えるものでもありませんが、
産婦人科に通い適切な治療を受けることで今では生理が
とても楽になったという経験があります。

私達のように、生理関連で悩んでいる方々の背中を
押してあげられるような活動を今後もしていけたらなと思います。

ご清覧ありがとうございます！

〈取材協力機関〉

慶應義塾大学SFC研究所 健康情報コンソーシアム Team ROSE様

医療法人舘出張佐藤会フイーカレディースクリニック様